



2014年 第4問

4 k は1以上の整数であるとする. 連続した整数が書かれた $2^k - 1$ 枚のカードが1組あり, その中に無作為に選ばれた当たりが一枚だけ含まれているとする. 次のようなルールで当たりのカードにたどりつくことを考える.

- (i) カードのうち, ちょうど真ん中の整数の書かれたカードをひく. それが当たりなら終了する.
 (ii) ハズレならば, 真ん中の整数より大きいカードの組と小さいカードの組に分ける.
 (iii) 当たりのカードの含まれた組を教えてもらい, その組に対して, (i)に戻って繰り返す.

このルールのもとで, ひいたカードの枚数の期待値を E_k とおく. このとき, 次の問いに答えなさい.

- (1) E_1, E_2, E_3, E_4 を求めよ.
 (2) E_{k+1} を E_k を用いて表せ.
 (3) $d_k = E_k - \frac{1}{2^k}(E_k + 1)$ とおくとき, d_k のみたす漸化式を求めよ.
 (4) E_k を求めよ.
 (5) $\lim_{k \rightarrow \infty} (E_k - k)$ を求めよ. ただし, $\lim_{k \rightarrow \infty} \frac{k}{2^k} = 0$ であることを用いてもよい.

$$(1) E_1 = 1, E_2 = 1 \times \frac{1}{3} + 2 \times \frac{2}{3} = \frac{5}{3}$$

$$E_3 = 1 \times \frac{1}{7} + 2 \times \frac{2}{7} + 3 \times \frac{4}{7} = \frac{17}{7}$$

$$E_4 = 1 \times \frac{1}{15} + 2 \times \frac{2}{15} + 3 \times \frac{4}{15} + 4 \times \frac{8}{15} = \frac{49}{15}$$

$$(5) \lim_{k \rightarrow \infty} (E_k - k) = \lim_{k \rightarrow \infty} \frac{(1-2^k) + k}{2^k - 1}$$

$$= \lim_{k \rightarrow \infty} \left(\frac{k}{2^k - 1} - 1 \right)$$

$$= \lim_{k \rightarrow \infty} \left(\frac{\frac{k}{2^k}}{1 - \frac{1}{2^k}} - 1 \right)$$

$$= \frac{-1}{1} //$$

- (2) $k = n+1$ のとき. 最初にはずれてからは $k = n$ のときの期待値に1を加えたものに等しくなるから.

$$E_{k+1} = 1 \times \frac{1}{2^{k+1}-1} + (E_k + 1) \times \frac{2^{k+1}-2}{2^{k+1}-1}$$

$$= \frac{2^{k+1}-2}{2^{k+1}-1} E_k + 1$$

つぎ,

$$(3) d_k = E_k - \frac{1}{2^k}(E_k + 1) \Leftrightarrow E_k = \frac{2^k d_k + 1}{2^k - 1} \quad \text{これを代入して}$$

$$\frac{2^{k+1} d_{k+1} + 1}{2^{k+1} - 1} = \frac{2^{k+1} - 2}{2^{k+1} - 1} \cdot \frac{2^k d_k + 1}{2^k - 1} + 1 \quad \therefore d_{k+1} = d_k + 1 //$$

- (4) $\{d_k\}$ は初項 $E_1 - \frac{1}{2}(E_1 + 1) = 0$, 公差1の等差数列.

$$\therefore d_k = k - 1 \quad \therefore E_k - \frac{1}{2^k}(E_k + 1) = k - 1 \quad \therefore E_k = \frac{(k-1)2^k + 1}{2^k - 1} //$$